



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 北海道中央バス株式会社
 コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二階堂 恭仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 大森 正昭

TEL 0134-24-1111

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,353	2.7	314		410		9	
2019年3月期第2四半期	17,871	0.5	280		177		200	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.55	
2019年3月期第2四半期	76.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	40,733	30,825	74.8
2019年3月期	41,135	30,443	73.1

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 30,479百万円 2019年3月期 30,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				50.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	1.9	950	7.0	1,100	8.0	650	311.4	248.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	3,146,000 株	2019年3月期	3,146,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	528,433 株	2019年3月期	528,399 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	2,617,586 株	2019年3月期2Q	2,617,847 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動への懸念により、先行きは不透明な状況で推移しました。道内の経済において、観光は一部に弱めの動きが見られるものの堅調に推移しているほか、公共投資や民間設備投資の増加もあり、緩やかな回復が見られました。

このような経営環境の中、当社グループは、地域社会に密着した事業を積極的に展開するとともに、経営効率を高め収支改善や経営体質の強化など、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は18,353百万円（対前年同期比2.7%増）、営業利益は314百万円（前年同期は280百万円の営業損失）、経常利益は410百万円（前年同期は177百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9百万円（前年同期は200百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

事業別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業においては、新千歳空港連絡バスにおいて、国内外の利用客の増加に対応するため、札幌都心とを結ぶ便数を増やすとともに、4月に運賃改定を実施しました。また、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響による減収からの回復や、10月から実施された消費増税に伴う乗車券の駆け込み事前購入などもあり、乗合運送事業は大幅に増収となりました。

貸切運送事業は、受注が減少し減収となりました。

この結果、売上高は10,597百万円（対前年同期比5.4%増）、営業利益は285百万円（前年同期は270百万円の営業損失）となりました。

② 建設業

建設業は、受注高、完成工事高とも減少しました。

この結果、売上高は4,756百万円（対前年同期比1.4%減）、17百万円の営業損失（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件を受注したことなどにより増収となりました。

この結果、売上高は1,481百万円（対前年同期比3.7%増）、営業利益は109百万円（同24.9%増）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、仲介収入の減少により減収となりました。

この結果、売上高は395百万円（対前年同期比1.4%減）、営業利益は155百万円（同13.8%減）となりました。

⑤ 観光事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、春スキー客が増加しました。小樽天狗山スキー場は、大型連休の影響や、北海道胆振東部地震の影響からの回復などもあり、ロープウェイ利用客が増加しました。ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、大型連休の影響などもあり宿泊客が増加しました。道央自動車道に直結した観光施設の砂川ハイウェイオアシス館は、大型連休の影響のほか、毎月イベントを開催するなど集客に努めたこともあり、利用客が大きく増加しました。

この結果、売上高は751百万円（対前年同期比6.7%増）、スキー場関連事業において上半期（4月～9月）は、スキー場がシーズンオフであり、これが影響し241百万円の営業損失（前年同期は258百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

自動車教習所は、消費増税に伴う駆け込み入校の影響もあり、売上げが増加しました。旅行業は、個人向けの企画商品の受注が増加しました。

この結果、売上高は1,778百万円（対前年同期比2.2%増）、営業利益は21百万円（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,237,655	6,392,076
受取手形及び売掛金	4,129,475	3,250,328
有価証券	3,000,000	3,650,000
商品	31,111	54,287
原材料及び貯蔵品	176,443	198,737
未成工事支出金	15,119	536,752
その他	514,939	244,383
貸倒引当金	△4,021	△4,049
流動資産合計	14,100,723	14,322,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,709,568	20,779,911
減価償却累計額	△15,564,215	△15,707,941
建物及び構築物 (純額)	5,145,353	5,071,969
車両運搬具	27,750,040	27,277,548
減価償却累計額	△21,616,586	△21,696,940
車両運搬具 (純額)	6,133,454	5,580,607
土地	10,217,924	10,201,642
その他	4,750,122	4,775,649
減価償却累計額	△3,948,109	△4,001,360
その他 (純額)	802,012	774,289
有形固定資産合計	22,298,744	21,628,508
無形固定資産	147,003	126,357
投資その他の資産		
投資有価証券	3,817,774	4,057,639
その他	794,803	621,832
貸倒引当金	△23,930	△23,479
投資その他の資産合計	4,588,647	4,655,992
固定資産合計	27,034,395	26,410,859
資産合計	41,135,118	40,733,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,822,397	2,657,923
未払法人税等	181,233	135,862
賞与引当金	233,818	338,671
その他の引当金	7,251	1,442
その他	4,218,306	2,850,372
流動負債合計	6,463,007	5,984,272
固定負債		
退職給付に係る負債	3,185,028	2,811,196
役員退職慰労引当金	328,606	322,521
その他	715,442	789,652
固定負債合計	4,229,078	3,923,370
負債合計	10,692,085	9,907,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	759,341	759,341
利益剰余金	28,197,188	28,061,527
自己株式	△1,215,819	△1,215,960
株主資本合計	29,840,710	29,704,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,177	1,048,579
退職給付に係る調整累計額	△504,170	△274,463
その他の包括利益累計額合計	235,007	774,116
非支配株主持分	367,315	346,708
純資産合計	30,443,033	30,825,733
負債純資産合計	41,135,118	40,733,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,871,396	18,353,344
売上原価	16,657,965	16,514,942
売上総利益	1,213,430	1,838,402
販売費及び一般管理費	1,493,692	1,524,093
営業利益又は営業損失(△)	△280,262	314,308
営業外収益		
受取配当金	50,120	55,003
持分法による投資利益	18,982	17,694
その他	34,922	24,167
営業外収益合計	104,024	96,865
営業外費用		
支払利息	346	301
支払手数料	425	439
その他	201	9
営業外費用合計	972	750
経常利益又は経常損失(△)	△177,209	410,423
特別利益		
固定資産売却益	18,908	30,880
その他	686	5,460
特別利益合計	19,594	36,340
特別損失		
固定資産除売却損	7,160	13,215
投資有価証券評価損	—	325,628
その他	11,279	1,205
特別損失合計	18,440	340,050
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△176,055	106,714
法人税、住民税及び事業税	84,422	117,861
法人税等調整額	△33,803	△944
法人税等合計	50,619	116,917
四半期純損失(△)	△226,674	△10,203
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,123	△19,496
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△200,551	9,293

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△226,674	△10,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201,830	310,947
退職給付に係る調整額	46,533	229,706
持分法適用会社に対する持分相当額	2,208	△1,556
その他の包括利益合計	250,572	539,098
四半期包括利益	23,898	528,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,988	548,402
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,090	△19,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	10,548,325	4,564,781	943,776	228,428	745,468	1,322,563	18,353,344	—	18,353,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,869	191,804	538,031	167,227	6,462	455,956	1,408,352	△1,408,352	—
計	10,597,194	4,756,586	1,481,808	395,656	751,931	1,778,520	19,761,697	△1,408,352	18,353,344
セグメント利益又は セグメント損失(△)	285,602	△17,594	109,580	155,419	△241,110	21,331	313,229	1,079	314,308

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。